

平成26年度第1回小牧市男女共同参画審議会議事要旨

1 日 時：平成26年5月8日（木）

午後2時～

2 場 所：小牧市まなび創造館 研修室2

3 出席者

〔出席者〕 委 員：代田義勝、松田照美、宮崎康弘、林義人、大野順子
牧とよ子、松井幸子、林千代子、岩下道子、市川紀六
事務局：安藤教育長、大野教育部長、舟橋教育部次長、羽飼館長
委託会社（サーベイリサーチ） 他

〔欠席者〕

なし

〔傍聴者〕

1名

4 議 題

（1）市民意向調査について

5 審議会概要

〔事務局〕

ただ今より、平成26年度第1回小牧市男女共同参画審議会を開催いたします。

本日は大変お忙しい中、小牧市男女共同参画審議会へご出席いただきありがとうございます。

本日、傍聴の申し出が1名ございます。欠席者はありません。本日の会議は公開とし、情報コーナーにて公開させていただきます。

それでは、安藤教育長よりご挨拶申し上げます。

〔教育長〕

皆さんこんにちは。

委員の皆様には、日ごろより男女共同参画推進のためにお力添えいただき、誠にありがとうございます。

昨年度より本審議会が中心となり、第3次男女共同参画基本計画の策定に向けて精力的に取り組んでいただいております。

特に昨年度は、新プラン策定のための根拠ともなる市民意識調査について色々ご審議をいただきました。

本日は引き続き、意識調査に関しての内容の審議をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

〔事務局〕

ありがとうございました。

それでは、議題に移ります。男女共同参画審議会規則第2条の規定により、代田会長に取り回しをお願いいたします。

〔会 長〕

こんにちは。ここ数回の審議会において、集中的に意識調査の内容について審議をしていただけてきました。

本日は、かなり実物に近い形の調査票案ができあがってまいりました。ここからは、市民の皆さんが実際に意識調査に回答するにあたって、理解が難しい点や迷ってしまう点等、どんな細かいご指摘でも結構ですのでご意見をいただければと思います。

本日の進行は、一般市民向け、事業所向け、小中学生向けの順で進めていきたいと思えます。

まず一般市民向けについてです。事務局に簡単に説明をお願いしたいと思えます。

〔事務局〕

はい。今回、これまでの調査票案を、より実物に近い形として作成したものを資料として配布させていただきました。

これまでの点と大きく異なる部分は一点あります。介護についての質問を削除してあります。

これ以外につきましても、細かい修正点等がかなり多くあります。一つ一つ説明させていただきますと大変時間がかかりますので、何かお気づきの点等ありましたらその都度ご質問をいただければと思います。よろしくをお願いいたします。

〔事務局〕

はい。それでは確認させていただきます。お手元に一般市民向け、事業所向け、中学生向け、小学生向けの4つの意向調査案があるかと思えます。まずは一般市民向けから協議していただきたいと思えます。

大きく1から12までの項目に分かれ、設問は42あります。順番に見ていきたいと思えます。何かご意見はありますでしょうか。

〔会 長〕

それでは、一般向けについて、ご意見、ご指摘をお願いいたします。

〔委 員〕

今回、自分で回答してみたところ16分ほどかかりました。前回の案の時も思いましたが、どの程度の時間が適切かどうか、もう一度考えてみる必要がないでしょうか。

〔委 員〕

私も計ってみたところ、22分かかりました。

〔委員〕

私たちのようにある程度理解している人間が回答してもこの時間ですので、男女共同参画に馴染みの薄い一般の方たちがどれくらいの時間をかけて回答されるのか、大変気になります。

〔委員〕

私は、回答していてどこまでいったら終わりなのか見えないのが厳しいと感じました。最初に「全〇問です」や、途中で「あと〇問残っています」等の記載があると、また感じ方も違うかなと思います。

また、「およそ〇分かかります」のように所要時間の目安を書くことも一つの方法かと考えます。

〔会長〕

皆さんでしたら、何分くらいが妥当だと感じるでしょうか。

〔委員〕

私なら、15分までかなと思います。

あと、気がついたのですが、最後に「ありがとうございました」の一言がありませんね。これは絶対に入れるべきです。

〔会長〕

気がついていませんでしたが、確かにそのとおりです。

〔委員〕

この調査は何のために行うのかというような主旨説明は入れるのでしょうか。

〔事務局〕

まだ記載してありませんが、表紙に入れる予定です。

〔委員〕

問20、21の選択肢が同じような内容を繰り返し書いてあるので、読んでいて迷うと思います。

〔委員〕

提案ですが、現在の選択肢7を一番最初の選択肢へ持ってきて、だんだん文字数を減らしていくようにしたらどうでしょうか。現在の状態だと、どんどん文章が増えていくので読みにくく感じるように思います。それならば一番最初に全ての項目を出しておくような形にすることで、少しは回答者の負担を減らせるのではないかと思います。

〔会 長〕

それは良いですね。

〔委 員〕

前回の審議で問 2 1 のみ選択肢 8 を残しましたが、仕事をしていない方でもその方の優先度があると思いますし、問 2 1 も選択肢 8 は必要ないと思います。

〔会 長〕

まとめますと、問 2 0 及び 2 1 の選択肢は現状の選択肢 7 を一番頭に持ってきて、以降選択肢 6 を二番目に、というように順序を逆にする、また問 2 1 は選択肢 8 を削除する、ということですね。

〔委 員〕

細かい部分ではありますが、問 1 6 の選択肢 5、選択肢 6 についてです。選択肢 5 の内容は「職場・行政の支援（子育て支援サービス、保育施設など）」となっていますが、正確に表現するなら「職場・行政の支援（子育て支援サービス、保育施設の不足など）」となると思います。

同じように選択肢 6 は「家庭内の問題（家族の理解や協力など）」となっていますが、「家庭内の問題（家族の理解や協力が得られないなど）」となるように思います。

〔会 長〕

そうですね。ここは修正しましょう。

〔委 員〕

問 2 1 の次に書かれているワーク・ライフ・バランス憲章は、ぜひ問 2 0 の前に位置を変更してほしいと思います。

〔会 長〕

これもそのとおりですね。問 2 0 の前に入れるようにしましょう。

〔委 員〕

質問を多く作りすぎないようにしている中ですが、追加してほしい質問があります。小中学生向けにある、「あなたは母親が働き、父親が家で家事をする家庭をどう思いますか」という質問です。

子どもの意見と対比させることで、有意義な結果を得られるのではと期待します。

〔委 員〕

私もその意見に賛成です。少ないながらも母親が働き、父親が家で家庭の仕事をする家庭も増えてきていると感じていますし、子どもの意見と大人の意見の両方を聞くのは面白いと思います。

〔委員〕

確かに興味深い意見です。ですが、ライフスタイルが多様化している現在、片働き、共働きだけでなく、シングルマザーやシングルファザーの家庭も多くなっています。そのような点についても配慮が必要ですから、大人にはこの質問はなくても良いように考えます。

〔委員〕

私もそう思います。このアンケートは、市民の皆さんの意識を知ることのほか、男女共同参画についての啓発の意味も含んでいます。あまり踏み込んだ質問をしすぎるのも良くないのではないですか。

〔委員〕

そうかもしれません。

〔会長〕

良い意見ですがこれは追加しないということにしましょう。
その他、ご意見はありますか。

〔委員〕

「介護について」の項目が削除されましたが、これはどういった事情でしょうか。

〔委託業者〕

「介護について」ですが、小牧市様は今年度策定される「介護保健事業計画」において、高齢者の方たちに向けた実態調査を行っておられます。この実態調査の結果を活用することができると考えます。

〔委員〕

わかりました。

〔委員〕

8の「人権について」ですが、問24と問25の選択肢内容で気になる部分があります。二つの質問は、基本的に同じ選択肢を使っていますが、選択肢3の「痴漢行為や痴漢冤罪」では、女性の痴漢冤罪は少々馴染みが薄く思えます。問24は「痴漢行為やストーカー行為」とし、問25はこのままで考えます。

また、問24の選択肢7の「令夫人」という言葉ですが、現在あまり使用されないように思いますし、この単語だけ削除したらどうでしょうか。

〔会長〕

そうですね。では問24と25については今のご意見のとおりにしましょう。

〔委員〕

問26の問題文で気になる点があります。「現在、男女の体の違いによる性別特有の病気

など、異性と異なる健康上の～」とあります。「異性と異なる」の文章に違和感を覚えるため、「性によって異なる～」等としたらどうでしょう。

[会 長]

確かにそのとおりです。直すようにしましょう。

[委 員]

一番最後に、自由記述欄を設けたらどうでしょうか。

[会 長]

それはあった方が良いでしょうね。

それでは次に事業所向けに移ります。何かご意見はありますか。

[事務局]

大変細かい部分ですが、問2の選択肢1が「10人以下」、選択肢2が「10～29人」となり、10人が被っています。選択肢1は「10人未満」としてほしいと思います。

[事務局]

修正いたします。

[委 員]

同じように問2ですが、選択肢が細かいため選択肢2と選択肢3は統一し、「10人～49人」としたら良いと思います。

[委 員]

前回の事業所向け調査の回収率はどのくらいだったかわかりますか。

[事務局]

前回は100事業所へ依頼し、回収率は37%でした。

[会 長]

なるほど、それと同じ回収率だとすれば、今回300事業所へ依頼しますので、100程度の回収が見込まれますね。

[委 員]

企業へは、この調査によっていろいろな制度に気づいてもらい、より社内の制度が充実することを期待したいですね。

[会 長]

他にないようでしたら、次に小中学生向けです。

〔事務局〕

ご意見をいただく前に、報告させていただきたいことがあります。これまで、小中学生向けの意識調査は、小学校は5年生、中学校は2年生向けとして審議をお願いしてきました。

しかし、この調査をするにあたり、学校側へ依頼を行ったところ、この内容で小学校5年生と中学校2年生では少々難しい。対象をもう1学年上げて、小学校6年生と中学校3年生向けとしてほしい、との要望がありました。

さらに、事務局としましては、学年全員へ調査を行いたいと考えておりましたが、全てのクラスで行うのは大変負担が大きいと、できれば1学年1クラスのみとさせてもらいたい、との要望もありました。

この要望につきましては、各学校でクラスの数も異なってきますので、どの学校も1学年1クラスとするのではなく、生徒の多い学校には2クラスの実施で依頼をしていこうと考えております。

この点についてもご協議いただければと思います。

〔委員〕

特に小学校5年生と中学校2年生でなければならないような質問項目はありませんので、学年を変更することについては問題ないと考えます。

〔会長〕

人数を変更するということは、実施要領に書かれている人数、小学5年生1,600人、中学2年生1,550人には達しないということですね。

〔事務局〕

はい、そのとおりです。

〔委員〕

意見ではなく要望となってしまいますが、小中学生向けの結果は、地域別や学校別で確認することができるようにしてほしいと思います。

〔委員〕

初めての調査ですから、有意義なものにしてほしいと思います。

〔会長〕

それでは、内容についてご意見等をお願いいたします。

〔委員〕

小学生向け問16及び中学生向け問18の選択肢は、かなりざっくりとした内容ですし、直接理由を書いてもらった方が良いのではないのでしょうか。

〔会長〕

書いてもらいましょうか。

〔委員〕

中学生はともかく、小学生に書いてもらうのはかなり難しいと思います。

〔委員〕

「男性のほうが」「女性のほうが」を削除するのはどうですか。問1で男性か女性かは聞いていますので、「なりたい仕事につけるから」「いろいろ得をするから」のように書いても意味は通じると思います。

〔委員〕

「楽だから」という理由もありそうな気がしますね。

〔委員〕

確かに性別によって何か言われることがあったとして、逆の性別になったことがないので、子どもは漠然と「男の子の方が、女の子の方が楽なのにな」等と考えているように感じることはあります。

〔会長〕

それでは、選択肢を「なりたい仕事につけるから」「いろいろ得をするから」「楽そうだから」というようにし、あとは「その他」として具体的な理由を書いてもらうようにしてもらいましょうか。

他にご意見はありませんか。ないようですね。皆様ご意見ありがとうございました。

〔事務局〕

皆様ありがとうございました。

それでは、これもちまして平成26年度第1回小牧市男女共同参画審議会を終了いたします。

本日は誠にありがとうございました。